

帰って来て——私のところへ……
激しく燃えあがる慕情が時をこえて今、



ある日どこかで

〈カラー作品〉

*Somewhere
in Time*



クリストファー・リープ
ジェーン・シーモア
クリストファー・プラマー
テレサ・ライト／ビル・アーウィン

●製作スティーブン・ドゥツシュ／監督ジャノーシ・シュワーク／音楽ジョン・バリー／ピアノ演奏ロジャー・ウィリアムス／原作 脚色リチャード・マジスン ユニヴァーサル映画 C I C 配給

ある日どこかで

*Somewhere
in time*

＜愛は時をこえた＞

「カムバック・トゥ・ミー」すべてはこの言葉に始まった。ある日、青年が気品の有る、しかし見知らぬ老婦人から耳もとでささやかれたその言葉には、実に60年の時をこえた、ある神秘的な出来事が秘められていた。

「激突ノ」縮みゆく人間「夜の訪問者」など続々ベスト・セラーを発表し、かつそのほとんどが映画化され大ヒットを記録するヒット・メーカー、リチャード・マジスのこれはファンタスティックな渦の中に、再び逢うことの叶わぬ恋人同志の辛く苦しい恋の物語です。

現代に生活する青年に、何故まもなく人生の幕を閉じようとする高齢の、それも一面識も無い老婦人があたたかも恋人に切望するように「私のもとへ帰って」と懇願したのでしよう。60年の時・空間をタイム・トラベルした青年はそこに誰をも魅了せずにはおかない輝くばかりの美しさを誇る老婦人のかつての若き日と遭遇するのです。そして得がたい灼熱の恋を体験し突然の別離という時の壁に引き裂かれる……この映画はいわばサイエンス・ファンタジーとも呼ぶべき異色のラブ・ストーリーなのです。

主演は78年超大作「スーパーマン」に抜擢され、一躍人気スターの仲間入りを果たしたクリストファー・リーブ。アメリカン・コミックスのヒーローから、時をこえ愛にめぐり逢う旅に出かける一途な青年を好演しています。

そして青年を60年前の世界へいざなう美女に73年「007死ぬのは奴らだ」で注目を集めたジェーン・シーモア。その天性の美しさを十二分に発揮する本作は、きつと彼女の代表作になるでしょう。共演は「サウンド・オブ・ミュージック」のクリストファー・プラマー。更にオールド・ファンには懐かしいテレサ・ライト

も出演しています。

製作はかつてラスター・フィルムズの副社長として「追憶」「トランザム7000」「出逢い」などヒット話題作を続々送り出して来たスティーブ・ドゥツシュ。

監督はTV出身であの超大ヒット作「ジョーズ」の続編「ジョーズ2」を手がけてその力量を認められた気鋭のジャン・シュワルク（当時ヤノット・シュワルツと表記したが訂正）。

音楽は「野生のエルザ」「007シリーズ」のジョン・バリーで「ラフマニノフのラプソディ（パガニーニのテーマ）」を2人の愛のテーマとしてすぐぶる効果的に用いています。またエンディングのオリジナル主題曲には、流麗なピアノ・テクニクで日本でも広くその名を知られる名手ロジャー・ウイリアムスを起用、余韻あふれるラスト・シーンは作品のムードをより一層高めています。

また1910年代の時代考証とそれに伴う美術、衣裳の豪華さは同時に、きめ細く行き届きたただただ溜息が出るばかりです。

◆スタッフ◆

製作……ステイブン・ドゥツシュ
監督……ジャン・シュワルク
脚色・原作……リチャード・マジソン
撮影……イシドール・マスコフスキ
美術……シモア・クレイト
編集……ジェフ・ガースン
音楽……ジェフ・ジョン・バリス
衣裳……ジャン・ビエール・ドルレアム
ピアノ……ロジャー・ウイリアムス

◆キャスト◆

リチャード・コリヤール……クリストファー・リーブ
エリザ・マッケナ……ジェーン・シーモア
W・F・ロビンソン……クリストファー・プラマー
ローラ・ロバート……テレサ・ライオン
アーサー……ビル・アサート
フィニー医師……ジョージ・ボスコベック
エリザ・マッケナ（老年）……スーザン・フレミング
アーサーの父……ジョン・アルビン
ジュヌビエール……エドナ・ゲイル
アーサー（幼年期）……ショーン・ヘイドン

1月31日(土)ロードショー!

特別鑑賞券¥1,200
絶賛発売中!

(一般¥1,500・学生¥1,300の処)

丸の内松竹 新宿京王地下
(201) 3720 (356) 3518

日・祝	10:20	12:30	2:40	4:50	7:00
平日	12:30	2:40	4:50	7:00	